

校長室から

学校教育目標

　　「知・徳・体、調和のとれた生徒の育成」

　　　　　　　～進取的な努力をする人材の育成～

令和5年1月1日　第39号

謹賀新年

令和５年が始まりました。

昨年は、太平洋戦争から７７年目でした。実は、明治維新から７７年後に太平洋戦争終戦でしたので、昨年は、日本を襲う何が゛起きるのかとびくびくしていました。それなりに色々あったのですが無事新しい年を迎えることができて、本当にうれしく思います。

　さて、みなさんは、どのようなお正月を過ごしているでしょうか。

　私は、例年紅白歌合戦を見て、最後のパ－ンとなるシ－ンを見ながら着替えます。「ゆく年くる年」の最初の鐘の音を聞いてから、近所のお寺へ鐘を突きに向かいます。一昨年ですが、夜間の鐘の音がうるさいと苦情があって、年越しの鐘がつけなくなりました。なんとも無粋な時代です。ですので、鐘はつかず神社に行くとずらっと人が並んでいるので、並ぶことが嫌いなので、そこはスル－して人気のないお地蔵さんに向かい初詣としています。

　だいだいお寺からお地蔵さんに向かう頃、必ず携帯電話が鳴ります。新任の教師だったころから手取り足取り指導していただいた大先輩の先生からの電話です。同道している家族もよく覚えていて、「そろそろ電話鳴るんちゃうん」と声をかけてきたりします。カウントダウンをしてピッタリ新年になった瞬間、電話が鳴ります。そして、「あけましておめでとう。そして、誕生日おめでとう」と告げてくれます。この習慣は、携帯電話の普及してないころから続いているので、本当に新年のありがたいはじまりになっています。

　ところで毎年思うのです。新年を迎えるにあたって、全国でカウントダウンしている。それは、まるで私の誕生日を祝ってくれているかのように。

　全国のみなさん、本当に毎年ありがとうございます。